

# 「顎口腔系機能異常症の病態と治療に関する後ろ向き研究」

## についてのお知らせとお願い

### 研究の背景、目的、概要

顎口腔系機能異常症（顎関節の雑音や疼痛、口が開かない、顎がはずれた、顎が不随意に動くなど）は、顎関節や咬合、咀嚼筋・咀嚼神経の異常により摂食障害や会話障害を生じる病態です。これらの症状は単独ではなく、複合的あるいは移行的に発生する場合があります。これまで本疾患の病態については、単独の病態のみからの検討が行われてきましたが、複合病態の関係性についても検討を行うが必要があり、治療についても複合性を考慮した治療法が必要と考えられます。本疾患の病態や治療法については未だ不明な点も多く、本研究では、本症の病態とこれまでの治療結果を明らかにすることを目的とします。本研究では、本症で当科を受診し、わたくしが治療を行った患者さんの診療データをもとに研究します。

### 研究対象

1995年4月から2015年3月までに防衛医科大学校歯科口腔外科において、わたくしが顎口腔系機能異常症で治療を行った患者さんを対象にします。対象症例は200例です。

### 研究の方法・期間

上記の患者さんの病歴や、臨床検査データ（臨床検査、画像検査、病理組織検査など）、治療法、治療結果を解析します。

これらのデータは、通常の患者さんの診察や治療で得られたものであり、本研究を行うために特別に得たデータではありません。

研究期間は、本研究承認後から2023年3月までとします。

### 個人情報の保護について

本研究は防衛医大倫理指針に基づいて行われますので、個人情報は匿名化され、個人が特定されることはありません。また、個人が特定されるような情報は一切公表しません。

## お願い

過去（1995年4月から2015年3月まで）に当科で顎口腔系機能異常症（顎関節の雑音や疼痛、口が開かない、顎がはずれた、顎が不随意に動くなど）でわたくしから治療を受けられた患者さんに関しまして、すべての患者さんに改めて連絡をとって御説明申し上げ、同意をいただくことは極めて困難です。過去に治療を受けられた方でご自身の治療経過などの臨床データを本研究に使わないでほしいというご希望ある方は、下記の連絡先までご連絡をいただきますようお願いいたします。

なお、研究参加拒否の意思を表明されても、防衛医科大学校歯科口腔外科における今後の診療に影響はなく、患者さんが不利益をこうむることはありません。

2019年7月25日

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校病院歯科口腔外科

高橋 雅幸

電話：04-2995-1511 内線 3095